ファカルティリンケージ・プログラム Faculty-Linkage Program

社会的ニーズに直結した、多彩な「学びの場」

活動報告書

2024年度

中央大学全学連携教育機構

2024 年度 FLP 活動報告書の発刊に寄せて

2024 年度ファカルティリンケージ・プログラム「Faculty-Linkage Program」(通称 FLP) の活動報告書が、ここに完成しました。積極的に活動した学生の皆さんの努力と担当教員のご指導に心より敬意を表します。

FLP は、総合大学として実績と伝統ある中央大学だからこそ実現できる全学横断的な学修システムです。現在開講しているのは、環境・社会・ガバナンスプログラム、メディア・ジャーナリズムプログラム (2023 年度まではジャーナリズムプログラム)、国際協力プログラム、スポーツ・健康科学プログラム、地域・公共マネジメントプログラムの5プログラムです。学生は、この中から一つ希望のプログラムを選択して FLP の教育プログラムに参加することができます。この多彩なプログラムを担当するのは、中央大学の学部や全学連携教育機構に所属している教員です。その専門性を生かし、より広い視野で本プログラムの教育を指導しています。

FLPの魅力は、学生の所属する学部とは異なる分野の学びや、分野横断的なテーマに、様々な学部の学生と共に三年間一緒に取り組める事でしょう。また、少人数制のゼミナール方式による教育を徹底しており、担当教員の指導も目が行き届いた状態となります。こうした環境にあって、友人と切磋琢磨をする時間は、心身両面において学生の更なる成長を促しています。

「FLP 活動報告書」は、学生と担当教員のこうした教育を実践した記録です。文字には表せない学生の熱意や指導教員の志などもお汲み取りいただければ幸甚です。

最後になりましたが、今後とも FLP の教育になお一層のご理解とご支援を賜りたく、お願いを申し上げます。また、この活動報告書をまとめるに際し、多大なご尽力いただきました関係各位への御礼をこの場をお借りして申し上げます。

2025 年吉日

中央大学全学連携教育機構 機構長 西川 可穂子

目次

I. 瑪	ŧ境・	社会・	ガバナンス	.プロク	ブラム
------	-----	-----	-------	------	-----

	1.	設置	の趣旨	おと教育	育の目的	1
	2.	2024	1年度海	寅習科	目担当者および履修者数	1
	3.	プロ	グラム	スケ	ジュール	2
	4.	プロ	グラム	の活動	動	2
	5.	これ	までの)履修生	生の主な就職・進学先実績	3
	6.	演習	教育活	:動		4
		(1)	中村	彰宏	(経済学部・教授)	4
		(2)	檀 -	平太	(理工学部・教授)	6
		(3)	ホーラ	テス・	シュテファン(理工学部・教授)	7
π	7	≀ディ	ア・ミ	ジャー -	ナリズムプログラム	
11		•		•	テッパーフェック 育の目的	0
					目担当者および履修者数	
					ジュール	
					動	
	5.	これ	までの)履修5	生の主な就職・進学先実績1	C
	6.	演習	教育活	:動		. 1
		(1)	岩隈	道洋	(国際情報学部・教授) 1	1
		(2)	松野	良一	(国際情報学部・教授)1	8
		(3)	石山	智恵	(国際情報学部・兼任講師)2	:3
		(4)	杉浦	信之	(全学連携教育機構・客員教授)2	7
		(5)	山崎	恆成	(全学連携教育機構・客員教授)3	1
ш	. 国	際協	カプロ	グラム		
	-				育の目的4	.3
	2.	2024	1 年度汽	寅習科	目担当者および履修者数4	.4
	3.	プロ	グラム	スケミ	ジュール4	.4
	4.	プロ	グラム	の活動	動4	4

5	. これ	までの	履修生の主な就職・進学先実績4	15
6	. 演習	教育活	動4	6
	(1)	中川	康弘(経済学部・教授)4	6
	(2)	林光	:洋(経済学部・教授)4	<u>.</u> 9
	(3)	平澤	敦 (商学部・教授) 6	52
	(4)	新原	道信(文学部・教授)6	6
	(5)	山田	恭稔(国際経営学部・教授)7	'2
	(6)	中村	俊之(全学連携教育機構・客員教授)7	'6
	(7)	戸川	正人(全学連携教育機構·客員教授)8	33
IV.	スポー	ツ・健	康科学プログラム	
1	. 設置(の趣旨	'と教育の目的8	37
			資習科目担当者および履修者数8	
3	. プロ:	グラム	スケジュール 8	38
4	. プロ:	グラム	の活動8	39
5	. これ:	までの	履修生の主な就職・進学先実績8	39
6	. 演習	教育活	動g	0
	(1)	浦谷	郁子 (法学部・助教) 9	0(
	(2)	宮崎	伸一(法学部・教授)	1
	(3)	村井	剛 (法学部・教授) 9)3
	(4)	青木	清隆(経済学部・准教授) g)7
	(5)	市場	俊之(商学部・教授)10)1
	(6)	潮清	孝(商学部・教授)10)2
	(7)	阿部	太輔 (理工学部・助教) 10)4
	(8)	向山	昌利 (文学部・准教授) 10)6
	(9)	小林	勉 (総合政策学部・教授) 10	8(
	_ ,,		ネジメントプログラム	
1	. 設置(の趣旨	台と教育の目的11	.8
2	. 2024	年度演	寅習科目担当者および履修者数11	.9

3.	プロ	グラム	スケシ	ジュール.				• • • •	 	 	 	119
4.	プロ	グラム	の活動	h					 	 	 	120
5.	こわ	までの)履修生	Eの主な 意	比職・進	学先到	€績		 	 	 	120
6.	演習	教育活	5動						 	 	 	121
	(1)	工藤	裕子	(法学部・	教授)				 	 	 	121
	(2)	鳴子	博子	(経済学音	『・教授	ξ)			 	 	 	126
	(3)	山﨑	朗(紹	E 済学部・	教授)				 	 	 	129
	(4)	根本	忠宣	(商学部・	教授)				 	 	 	131
	(5)	天田	城介	(文学部・	教授)				 	 	 	134
	(6)	新原	道信	(文学部・	教授)				 	 	 	144
	(7)	川崎	一泰	(総合政策	竞学部 ·	教授)			 	 	 	152
	(8)	小林	勉(紛	総合政策等	ዾ部・参	姓).			 	 	 	154
	(9)	堤 利	1通(約	総合政策学	ዸ部・教	始後).			 	 	 	161

※ 担当教員の所属・身分については、発行時点のものとする。

中央大学全学連携教育機構	
本報告書に関してお気づきの点等ございましたら、全学連携教育機構事務室(多摩キャンパス 5 号 ペデ下-学生部学生相談室上)までお問い合わせください。	予館

<問い合わせ先> 全学連携教育機構事務室 TEL:042-674-3663

E-mail:flp-grp@g.chuo-u.ac.jp